

三つ子の魂、どんな魂？

— 幼児期の心の発達をさぐる —



この講演では、幼児期の発達の転換期といわれる4歳前後の時期を中心に、「心の理論」研究など、発達心理学の最新の研究成果を参照しながら、幼児の発達心理についてパワーポイントを使って説明をおこないます。



■ **スピーカー**：子安 増生先生（教育学研究科 副研究科長・教授、博士）

■ **日時**：平成19年10月20日（土） 10:30～12:00

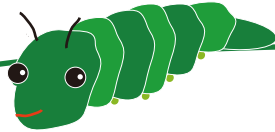
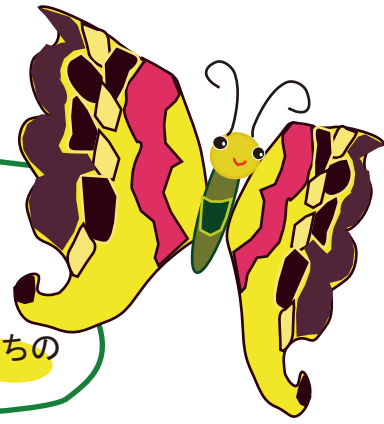
■ **場所**：京都大学総合博物館

ミュージアム・ラボ

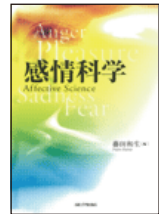
子安先生からのメッセージ

蝶々がかつて青虫であったことを忘れた顔をして飛び舞っているように、昔は子どもであったことを大人はすっかり忘れている。

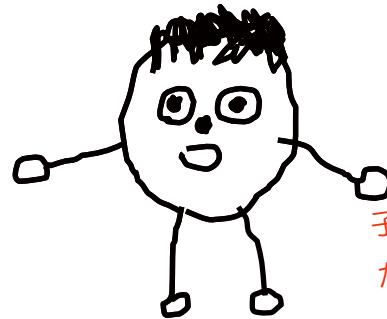
この講演では、発達心理学の最新の研究成果を参照しながら、かつては私たちの姿であった幼児の心理に迫りたい。



子安増生先生の最新研究はこちらで読めます！



藤田 和生編『感情科学』
（京都大学学術出版会、2007年）
A5判上製・416頁・3990円（税込）
書店にて好評販売中！！



子どもはなぜこういう絵をかくのでしょうか？

レクチャー当日には、ミュージアムショップでもご購入頂けます。

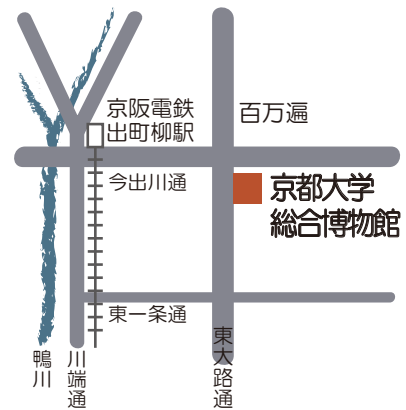
図：頭からじかに手足が生えた「頭足人」

編集者からのメッセージ

話しことばが身につく、身の自立がはじまる4歳前後。この時期は、自分と人との考えの違いも理解できるようになる点で、子どもの心理的な成長のうえで大きな転換期といわれています。

発達心理学の最新の研究成果をふまえて幼児の心理にせまり、かつての私たち自身の姿をあらためて見直してみませんか？子育て中のお母さん・お父さんへのヒントがいっぱいです。ぜひいらしてください。

- **申し込み**：不要です。直接博物館へお越しください。
- **対象**：小さなお子さんをお持ちのお父さん・お母さんに、是非お越し頂きたいです。（講演中、臨時保育施設等はありませんので、予めご了承下さい。）
なお、小学生に関しては、博物館エントランスホールにて行われている週末子ども博物館のお兄さん・お姉さんがお相手をします！
- **参加費**：無料です。
ただし、博物館への入館料は必要です。
一般400円/大学生・高校生300円/中学生・小学生200円
※70歳以上の方、身体障害者の方は入館無料です。
- **問い合わせ**：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館
TEL 075-753-3272



京都バス「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約1分
京阪電鉄「出町柳(でまちやなぎ)」駅下車徒歩約15分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

ホームページ <http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html>
協力：京都大学学術出版会